

# ローカル鉄道応援酒『<sup>てつ</sup>鐵の道<sup>みち</sup>』

『鐵の道』は、地方の水と米、そして技から生まれた風味が牽引する  
“ローカル鉄道を醸す純米酒”です。

全国共通銘柄の『鐵の道』は、8つのローカル鉄道沿線の  
9つの地酒蔵元から発売されています。



『鐵の道』の蔵元：

- ① 木戸泉酒造／千葉県いすみ市      ② 井坂酒造場／大阪府岸和田市      ③ 福来／岩手県久慈市
- ④ 武甲酒造／埼玉県秩父市      ⑤ 八尾本店／埼玉県秩父市      ⑥ 沓掛酒造／長野県上田市
- ⑦ 一本義久保本店／福井県勝山市      ⑧ 銀盤酒造／富山県黒部市      ⑨ 浜千鳥／岩手県釜石市

※『鐵の道』の購入は、「鐵の道」の企画提案を行った「一般社団法人 <sup>こうふうざ</sup>洗楓座」が運営する  
「鐵の道クラブ」<http://www.tetsunomichi.net/>にて参加蔵元に申し込みください【裏面参照】。



① アイガモ有機肥料で作られたいすみ産米を用いた純米酒で「味のしっかりしたうま口に仕上がった」と荘司社長が語っています。ラベルの『鐵の道』は現代書家の渡邊麗氏の揮毫によります。2012年9月から、酒質とともに、ラベルを変更しました。新しいラベルは、大多喜高校OBの大学生に揮毫していただきました。  
720ミリリットル／1433円(税込)。木戸泉酒造株式会社 TEL：0470-62-0013  
<http://kidoizumi.jp.com/> 【いすみ鉄道応援酒】



② 地元大阪泉州のお米と名水を100%使用するこだわりの“大阪もん”純米酒で、芳醇な香りとさわやかな飲み口、独特のコクが特徴です。ラベルの題字は、テレビの人気時代劇として一世を風靡した「必殺シリーズ」のタイトルロゴを書かれた、泉佐野在住の書道家、糸見溪南先生に揮毫していただきました。  
720ミリリットル／1433円(税込)。井坂酒造場 TEL：072-479-0074  
[http://www.osaka-info.jp/jp/mono/detail/sightseeing\\_6267.html](http://www.osaka-info.jp/jp/mono/detail/sightseeing_6267.html) 【水間鉄道応援酒】



③ 地元久慈市の酒造好適米「ぎんおとめ」100%を、福来社内の「招福の水」で仕込み、やや辛口でうま味のある純米酒に仕上げられています。ラベルは、北リアス線が走る県北沿・部の地図を入れ、地元の・瘦二が揮毫(きごう)し、全線復復旧の願いを込めて「鐵の道」の3文字は、すき間なく繋げられています。  
720ミリリットル／1300円(税込)。福来 TEL：0194-56-2221。  
<http://www.maroon.dti.ne.jp/fukurai/> 【三陸鉄道北リアス線応援酒】



④ 蔵元に涌出する武甲山の伏流水と、国産の酒造好適米で60%の精米歩合で醸成した純米酒。ラベルは、秩父農工科学高校書道部生徒の書(刻字)を、秩父鉄道のSL「パレオエクスプレス」とともに、デザインされています。  
720ミリリットル／1400円(税込)。武甲酒造 TEL：0494-22-0046  
<http://www.bukou.co.jp/> 【秩父鉄道応援酒】



⑤ 酒造り260年の歴史をもつ蔵元が、秩父の米、水、技で醸(かも)した特別純米酒。秩父農工科学高校書道部生徒の書を布製ラベルにお洒落にデザインしています。  
720ミリリットル／1470円(税込)。矢尾本店 TEL：0494-22-8787  
<http://www.yao.co.jp/chichibunishiki/top.htm> 【秩父鉄道応援酒】



⑥ ラベルは上田西高等学校書道部生徒の作品で、しなの鉄道の実際の沿線の形をイメージされたものです。お酒は酒造好適米「美山錦」を使用し、米作りと酒造りを上田にこだわったお酒で、すっきりとしコメの旨みをしっかりと味わえるお酒となっております。  
720ミリリットル／1400円(税込)。直売店「郷の蔵」 TEL：0268-21-9232  
<http://www.fukumuryo.co.jp/> 【しなの鉄道応援酒】



⑦ ラベルには、えちぜん鉄道の車両写真とともに、勝山永平寺線および三国芦原線の路線図が、雪景色の写真とともに描かれており、鉄道ファンには楽しみです。お酒は酒造好適米「五百万石」を使用し、福井県オリジナル酵母で醸された辛口純米酒です。  
720ミリリットル／1313円(税込)。一本義久保本店 TEL：0779-87-2500  
<http://www.ippongi.co.jp/> 【えちぜん鉄道応援酒】



⑧ ラベルには、富山大学書道部の藤井翼氏が揮毫した力強い字体の「鐵の道」が使われており、銀盤酒造の沿線でもある地鉄本線の西魚津から宇奈月温泉までの駅名が書かれています。銀盤酒造は長屋駅の目の前にあり低温貯蔵タンク群があるので、わかります。“純米大吟醸”の「鐵の道」が、初めて銀盤酒造から誕生しました。  
720ミリリットル／銀盤酒造 TEL：0765-54-1181  
<http://www.ginban.co.jp/> 【富山地方鉄道応援酒】



⑨ 2011年3月11日、突然発生した地震と津波。三陸鉄道は寸断され不通になっていました。あれから3年、南リアス線もの2014年4月5日に見事全線開通することになりました。浜千鳥では、これを記念し、三鉄南リアス線を応援する「鐵の道」を発売することにいたしました。ラベル・には、青い海を背に快走する車両が描かれています。  
720ミリリットル／1190円(箱なし)、税別。浜千鳥 TEL：0193-23-5613  
<http://www.hamachidori.net/index.html> 【三陸鉄道南リアス線応援酒】